

シニア団体活動支援事業は、元気な高齢者が地域の活動に参加するきっかけをつくり、高齢者の社会参加と自主的活動を促進し、高齢者の生きがいと健康づくりを目的としております。この広報誌では、年齢を感じさせず、いきいきと活動している本事業登録団体をご紹介します。

芳柳会

活動エリア	会津地区	構成	男性	女性	計
市町村	金山町	年齢	0名	10名	10名
電話番号・FAX メールアドレス等	Tel 0241-54-2523	構成	28歳～75歳 (60～70歳代が中心) 稽古は1回あたり 約2時間 曜日・時間等希望に 応じる		
活動内容	日舞稽古、福祉施設等慰問ボランティア活動	日時	稽古は1回あたり 約2時間 曜日・時間等希望に 応じる		
会費	要相談	要相談			

〈日本舞踊でボランティア活動〉

芳柳会は、前身団体「草秀華の会」(平成7年発足)から改名して平成20年に発足した芳柳流日本舞踊の団体で、今年で活動歴20年になる。日本舞踊の練習に励むだけでなく、積極的に地元を中心にボランティアに臨んでおり、依頼に応じて近く近隣地域の福祉施設への慰問活動は、20年以上に渡り継続している。

取材当日は地元の高齢者福祉施設で、敬老祝いの会の慰問活動が行われた。



古典舞踊から現代舞踊まで、この日は7曲の演舞を披露した。



〈高齢者になじみのある日舞〉

日本舞踊は、和服を着て高齢者になじみのある曲で踊ることから、特に福祉施設の慰問で喜ばれることが多いという。今回取材で訪れた敬老会の慰問でも、古くから知られる祝い舞「鶴亀」の他、宮城民謡「齊太郎節」や美空ひばりの「お祭りマンボ」など古典舞踊から現代舞踊まで幅広く踊られ、喝采を受けていた。井草武子会長は「体力が続く限りまた弟子ができてくれる限り、今後もボランティア活動を続けていきたい」と話した。入会問合せは、会長まで。



日舞指導を行う会長の井草武子氏(写真前列左)と今回の慰問活動に参加した皆さん。ボランティア活動は、会員の中で参加できる会員で交代しながら続けている。

エレキサウন্ズの響

活動エリア	東北地区	構成	男性	女性	計
市町村	福島市	年齢	7名	0名	7名
電話番号・FAX メールアドレス等	Tel 024-5662-2644 090-7931-7238	構成	38歳～64歳 (平均年齢60・5歳)		
活動内容	エレキギター演奏、各種イベント出演 福祉施設慰問ボランティア活動等	日時	不定期(イベント出演等に合わせメンバーで相談の上決定)		
会費	月会費500円(12月2月までのシーズンオフは会費無し)	要相談			

〈再度自分の夢を追うことを決意〉

エレキサウন্ズの響きYAMATOは10年前に高校時代からの仲間と再結成したエレキバンドだ。再結成当時は皆仕事盛りの50代半ばであったが、仕事を続けながらも趣味も大事にしたいと再度自分の夢を追うことを決意したという。現在は昨年結成された弟ユニットMUSASHIと共に川俣町、福島市内を中心に、年間10～15回ほど障がい者福祉施設、芸能祭、文化祭等にてボランティアでコンサートを行っている。



取材当日は地元の学習センターで、大正琴のサークルとジョイントコンサートを開催した。



主な演奏曲はベンチャーズや加山雄三など1960年代のギターサウンド。そのほか、演歌やビートルズなどレパートリーは50曲以上ある。



エレキサウন্ズの響には、エレキギターの指導も行う兄貴分バンドYAMATOと弟分のMUSASHIの2ユニットがあり、佐藤正治氏(写真右)が会長を務める。

〈趣味も家庭も大切に〉

バンド活動については、仕事と家庭を第一と考え、無理な演奏日・練習日を設定せず、演奏会はその都度メンバーに確認してから決める等、常に報告・連絡・相談を心がけているという。またメンバー同士感情的にならないようなムード作りも大切にしている。佐藤正治会長は「自己満足に終わらず、聴いていただく皆さんにかつたと言っていただけのような演奏を目指したい」と今後の目標について話している。

ハーモニカアンサンブル エコーズ

活動エリア	県中地区	
市町村	郡山市	
電話番号・FAX メールアドレス等	TEL024-951-2112 (事務局)	
活動内容	演奏練習、福祉施設等慰問 ボランティア活動	
構成	男性	女性
年齢	59歳～85歳	
構成	6名	2名
年齢	(平均年齢71・75歳)	
活動日時	第1・3金曜日18時～20時30分 基本練習の他演奏会により変更有	
会費	月会費1,500円	

〈ボランティア活動を行うために発足〉

ハーモニカ技術の向上と慰問ボランティアを行う目的でハーモニカ愛好者の有志が集まり平成22年に発足。市内外の福祉施設への慰問演奏やイベント出演等を年間20回行うなど積極的にボランティアの活動をしている。演奏会では世代にあった選曲を心がけており、事前に訪問先と打合せの上、聴衆の年齢層などを細かく把握するといふ。

〈運営は全て自分たちで〉

特に福祉施設の慰問においては、機材準備やプログラム作成、司会進行など全て自分たちで行うこととしており、施設側の負担にならないよう配慮して活動している。皆ボランティアにはやりがいを感じており、趣味を何らかの形で社会に還元していくことを目標に今後も健康が続く限り、ボランティアを継続したいとメンバーが口々に話してくれた。入会希望者はハーモニカ演奏経験者を求む。活動見学・演奏依頼等の問合せは、事務局へ。



取材当日は地元の高齢者福祉施設で、敬老会のコンサート活動。毎回、お客さんの年齢層を事前に確認し、年代に合わせた選曲を心がけている。ボランティア活動は、依頼があれば随時活動する。



アンサンブル演奏には欠かせない大型のコードハーモニカ(写真左)とバスハーモニカ(写真右)。特にバスハーモニカは、息を吐くときにのみ音が出るので肺活量が必要だそう。



ハーモニカ演奏に必要な専用機材は全て持ち込みで自らセッティングを行う他、プログラム作成や司会も自分たちで行う。

宇津峰YOSAKOI

活動エリア	県中地区	
市町村	須賀川市	
電話番号・FAX メールアドレス等	TEL0248-76-8218 (会長宅)	
活動内容	定例練習の他、イベント出演、 ボランティア活動多数	
構成	男性	女性
年齢	14歳～75歳	
構成	3名	27名
年齢	(60代が中心)	
活動日時	毎週水曜日	19時～
会費	月会費300円 他衣装、小道具類等は別途	

〈須賀川老舗のよさこいチーム〉

宇津峰YOSAKOIは、平成12年に須賀川市で開催された地方博覧会「つくしま未来博」にて、当時ブームであったよさこいを披露する目的で当時の須賀川市小塩江公民館長の声掛けにより結成された、須賀川市内では最も老舗のよさこいチームだ。県内外で年間20前後のステージに出演している他、地元病院や福祉施設などへの慰問をはじめ、ボランティアにも積極的に取り組んでいる。

〈仲間同士の助け合いを大切に〉

会には老若男女様々な会員同士がおり、皆楽しく活動できるよう、会長ほか役員一丸になって和気あいあいとした雰囲気作りを心がけている。踊りが遅れるなど集団演奏について来れないメンバーがいても仲間同士で一緒に練習しあうなど周囲がフォローしあっているそう。



この日の練習へ参加した皆さん。



定例練習会では、通常のよさこいの振り付け確認の他、イベントで変わる立ち位置や動きを確認しながら演舞する。



顧問の中山正氏(写真左)と会長の中山豊子氏。(写真右)

会長の中山豊子氏は「振付を手直しするなど、新しい内容を取り入れステージに出演していきたい。」と話した。入会希望は随時受付中。問合せは、会長まで。

シニア団体活動支援事業の登録団体を募集しております

—いきいきと活躍するシニアサークル・団体の登録をお待ちしております—

●活動紹介してみませんか？

いきいきと活動している県内のサークルや団体の活動状況を本会ウェブサイトや本チラシでご紹介します。

●対象となるのは？

シニア世代が中心となって活動されているサークル・団体様(年齢構成、活動内容、法人格の有無は問いません)

●参加方法は？

この事業は登録制で、登録は無料です。年度途中からの参加も可能です。登録のご案内やご不明な点がある場合は、本会に直接お問合せ下さい。

●発行元・問合せ先 福島県社会福祉協議会 いきいき長寿課

〒960-8141 福島市渡利字七社宮111番地 福島県総合社会福祉センター3階
TEL (024) 524-2224 FAX (024) 524-2228